

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
1	5	基本目標	文言統一による修正	(3) 東北の中核都市としての魅力・求心力の向上 首都圏等に在住する者の中には、地方へのU I 子ターンやCCRC※、2地域居住※などに関心を持つ者や、本市の出身者、本市居住の経験者などで本市にゆかり（「縁」）のある者がいます。	都市戦略室
2	6	用語解説	誤植による修正	※CCRC……高齢者が移り住み、健康時から介護・医療が必要となる時期まで継続的なケアや生活支援、サービス等を受けながら生涯学習や社会活動等に参加するような共同体のこと。Continuing Care Retirement Communityの略	介護保険課
3	6	用語解説	誤植による修正	※コンベンション……人、情報、知識、物などの交流の場、集まりを指す。本来は「会議」を意味するが、ある地域に、人、情報、知識、物呼び込むシステムをの総称して用いられる。	観光交流課
4	9	戦略1 事業	ライフデザイン支援事業 【検討→計画】	若い世代を対象にセミナー等を開催し、将来のライフデザインを描くことができるよう、効果的な情報提供を行う。	子ども青少年課
5	9	戦略1 事業	結婚支援人材養成事業 【検討→計画】 【内容変更】	結婚を取り持つ役割を担う人材の養成を行うとともに、結婚後の相談も担う人材の育成も図る。 また、市が養成した人材が中心となって、マッチング・情報交換等の自主的な活動を展開しており、市は、活動費の一部を補助するなどの支援を行う。	子ども青少年課
6	9	戦略1 用語解説	修正	※いきいき岩手結婚サポートセンター……結婚を希望する方々を支援するため、岩手県や県内市町村などが連携して平成27年10月1日に設置。出会いの機会を提供することで、パートナー探しを支援する。通称『i-サポ』	子ども青少年課
7	10	戦略2 本文	新規事業の実施に伴う追記	・子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、子どもの貧困対策を計画的・総合的に推進します。 ・児童虐待の発生予防と早期発見、早期対応を行うための拠点を設置し、子どもや保護者に寄り添い、訪問等による継続的な相談・支援を行います。	子ども青少年課
8	10	戦略2 K P I	K P I の変更	保育所待機児童数(4月1日現在) 【変更】 H26 9人 (H27年度当初値4月1日) → H31 0人 (H32年1月1日)	子育てあんしん課

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
9	11	戦略2事業	待機児童解消強化事業【 <u>拡充</u> 】	定員の弾力化を推進し、これまで以上に定員の弾力化に積極的に取り組む保育所へ補助を実施することなどにより待機児童解消に取り組む。また、併せて保育士資格取得事業を実施し、保育士の確保を図る。	子育てあんしん課
10	11	戦略2事業	少子化対策（子育て）支援事業【 <u>27年度終了</u> 】	子どもたちが遊びを通じて創造性や社会性、地域への愛着などを育てる機会を提供することなどを通じ、特色ある保育環境（遊具設置）を整える。	子育てあんしん課
11	11	戦略2事業	医療費給付事業（妊産婦、乳幼児、小学生、中学生）【 <u>拡充</u> 】	妊産婦や乳幼児等に対して、安心して医療が受けられるように、医療費を助成する。	医療助成年金課
12	11	戦略2事業	産後ケアに係るニーズ調査事業【 <u>検討→計画</u> 】 【 <u>29年度終了</u> 】	盛岡市における産後の女性の支援ニーズについて、岩手県立大学との協働により、専門的な調査及び分析を行い、具体的な施策検討に向けての基礎資料を得る。	母子健康課
13	11	戦略2事業	産婦健康診査事業【 <u>追加</u> 】	産後2週間、産後1か月などの出産間もない時期の産婦健康診査を実施し、産婦の母体の回復を診るだけでなく、授乳状況及びうつ傾向等精神状態を把握することにより、早期に産後ケア等の支援に繋げ、産後うつ及び新生児虐待の予防を図る。	母子健康課
14	11	戦略2事業	産後ケア事業【 <u>追加</u> 】	家族等から十分な家事及び育児等の援助を受けられない産婦や、心身の不調や育児不安が強い産婦に対して、助産師等が家庭訪問等により、保健指導、授乳指導、心理的ケアや育児に関する指導、療養上の世話等きめ細やかな支援を行う。	母子健康課
15	12	戦略2事業	小児救急輪番制病院事業【 <u>◎</u> 】 【 <u>修正</u> 】	休日、夜間などにおける入院治療を必要とする小児の重症救急患者の医療を確保するために、輪番制で診療にあたる5病院を支援し、うち4病院に対して運営費を補助する。	盛岡市保健所 企画総務課
16	12	戦略2事業	子どもの生活実態調査事業 【 <u>29年度終了</u> 】	岩手大県立大学との共同研究により、盛岡市における子どもの生活状況について実態調査を行うとともに、専門的な見地から盛岡市の子どもの貧困についての分析を行い、それに基づき、効果的な事業を検討する。	子ども青少年課

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
17	13	戦略2事業	子どもの貧困対策推進事業【追加】	平成29年度に策定した「盛岡市子どもの未来応援プラン」に基づき、子どもの貧困対策を計画的・総合的に推進する。	子ども青少年課
18	13	戦略2事業	子ども家庭総合支援センター拠点事業【追加】	児童虐待の発生予防と早期発見、早期対応を行うための拠点を設置し、子どもや保護者に寄り添い、訪問等による継続的な相談・支援を行う。	子ども青少年課
19	13	戦略2事業	子育て支援員等研修事業【修正】	平成27年度から小規模保育、家庭的保育、ファミリー・サポート・センター等の事業に従事する人材を確保するため、必要な知識や技能等を修得するための研修を実施する。	子育てあんしん課
20	13	戦略2事業	地域における児童サポート応援事業【検討→計画】 【内容変更】	高齢者や高校生などが、継続的に児童をサポートする取組を支援し、地域で児童を見守る意識を高め、安全・安心な子育て環境をつくる。 市民・団体等が主体的に行う子ども・子育て支援の取組の促進を目的として創設した盛岡市子ども未来基金を活用し、市民・団体等からの提案に基づき、地域における子どもの居場所づくりや、子育て世代を対象としたサロン活動、外遊びを通じた世代間交流などの取組に助成を行う。	子ども青少年課
21	13	戦略2事業	子育て世帯支援型賃貸住宅改修事業【追加】	住宅要配慮者向けの住宅を確保するため、既存住宅等を改修し子育て世帯専用の賃貸住宅とする民間事業者等に対して、改修に要する費用の一部を補助する。	建築住宅課
22	14	戦略3 KPI	KPIの修正	ワーク・ライフ・バランス推進事業参加企業数(累計)〔社〕	子ども青少年課
23	14	戦略3事業	ワーク・ライフ・バランス推進事業【修正】	民間企業の自主的な取組を推進するため、人材養成に係る講座等を開催するとともに、ネットワーク作りを支援する。	子ども青少年課
24	14	戦略3事業	ワーク・ライフ・バランス表彰事業【検討→計画】	民間企業の取組の実態把握を行い、ワーク・ライフ・バランスを推進している民間企業等を表彰することで、自発的なワーク・ライフ・バランスの推進を促す。	子ども青少年課
25	14	戦略3事業	父親ハンドブック交付事業【検討→計画】 【内容変更】	父親の育児参加を促すため父親ハンドブックを交付し、育児に参加する意義や育児のイロハなどの情報を提供する。 岩手県が作成した「いわてイクメンハンドブック」や、民間事業者が運用を開始している子育て支援情報ツールなどの既存媒体の活用等により情報提供を行う。	子ども青少年課

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
26	14	基本目標1 注記	変更	【◎】……「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けることを検討している事業	都市戦略室
27	15	基本目標1 関連事業	関連事業の追加	「ファミリー・サポート・センター事業」, 「もりおか子育て応援パスポート事業」の追加	子ども青少年課
28	15	基本目標1 関連事業	関連事業の修正	「男女共同参画推進事業（もりおか女性センターの管理運営を除く。）」の修正	市民協働推進課 (男女共同参画推進室)
29	15	基本目標1 関連事業	関連事業の削除	「地域児童クラブ等運営事業」の削除	子育てあんしん課
30	16	基本目標2 数値目標	数値目標の追加と修正	大学卒業生の地元就職率【修正】 H26 45.0% H31 55.0% 盛岡公共職業安定所管内の就職率（新規学卒者を除く）【追加】 H26 38% → H31 40%	企画調整課, 経済企画課
31	17	戦略4 本文	新規事業の実施に伴う追記	・多様化する消費者ニーズに的確に対応し, 集客効果を高めるため, 新たに商業振興ビジョンを策定し, 魅力ある個店や商店街づくりを支援します。	経済企画課
32	17	戦略4 K P I	K P I の追加	1企業あたりの商業サービス業の企業売上高【追加】 H26 185,175千円 → H31 185,175千円	経済企画課
33	17	戦略4 K P I	K P I の修正	製造品出荷額等〔千万円〕【修正】 H26 9,148千円9,848千円 → H31 9,605千円10,511千円	ものづくり推進課
34	18	戦略4 事業	盛岡市新産業創造推進事業【27年度終了】	新産業等用地の候補地選定, コワーキングスペースの開設など, 盛岡地域における「しごと」と「ひと」の好循環を確立するための仕組みづくり及び環境づくりを推進する。	ものづくり推進課
35	18	戦略4 事業	地域経済好循環推進事業【27年度終了】	市内中小企業者等が農林漁業者等と有機的に連携し, 地域経済の好循環に資する事業を創出する場合, 事業に要する経費の一部を補助する。	ものづくり推進課
36	18	戦略4 事業	盛岡広域資源新市場開拓事業【◎】【27年度終了】	盛岡広域8市町内の食料品や民芸品など特産品（地域資源）の出店を募り, それらが一堂に会した展示会や商談会を首都圏等で行い, 今後の販路拡大を図る。	ものづくり推進課

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
37	18	戦略4事業	国際リニアコライダー誘致推進事業【拡充】	岩手県国際リニアコライダー推進協議会の加盟団体や、東北各市とも連携し、国際リニアコライダーの本県誘致に取り組むとともに、誘致決定後には工業を含めた地域振興への効果を研究するなど、各分野の施策の方向性を定める。また、ILC誘致実現を見据えた国際化の推進に取り組む。	国際リニアコライダー推進事務局
38	18	戦略4事業	新規就農・経営継承総合支援事業【拡充】	新たな農業の担い手を確保するため、一定の要件を満たす新規就農者に対して青年就農給付金農業次世代人材投資資金や親元就農給付金を支給する。	農政課
39	18	戦略4事業	ものづくり産業魅力向上事業【◎】【拡充】	盛岡広域8市町と連携し、手仕事による工芸品の魅力向上を図るため、商品力の向上を図り、首都圏等の工芸品展示施設に出展する。出展に当たっては、専門知識を有する講師の招聘等により、効果的な出展方法等の事前研修を行う。また、盛岡地域で活動する工芸品事業者のネットワークを構築し、情報を盛岡手づくり村に集約する。	ものづくり推進課
40	18	戦略4事業	食と農のバリューアップ推進事業【拡充】	食と農の連携をベースとした「所得の向上と夢のある農業」の実現に向けた戦略を策定の上、1次産業と2次産業、3次産業の連携を強化し、魅力ある盛岡産農畜産物のブランド力向上と販路拡大、6次産業化の支援、盛岡の食の魅力発信等を推進するとともに、産直施設の支援強化に取り組む。 盛岡産農畜産物への愛着や食に対する興味や関心の醸成、生産者と食に携わる事業者などの異業種が連携できる場づくり、食と農をベースとした地域の活性化、農業・食産業の強化への取組を行う。	農政課
41	19	戦略4事業	個店魅力アップ支援事業 商店街等魅力強化支援事業 【検討→計画】 【内容変更】	もりおかまちなかゼミナールなど、個店の魅力向上を図り、個店のファンづくりを支援する。 商店街等やエリアごと開催される研修会に対して講師を派遣し、商店街等の魅力強化を図るほか、研修会で参加する企業に国・県が実施する各種支援策の活用を促し経営力の強化に繋げる。	経済企画課
42	19	戦略4事業	新産業等用地整備事業 【検討→計画】	盛岡市新産業等用地整備計画に基づき、成長が見込まれる医療分野を中心とした先端技術を有する企業の集積を図るとともに、産学官連携や企業間連携等による新技術・新製品等開発を行い、企業の高付加価値化を実現するための「ものづくり拠点」として産業等用地を整備する。	ものづくり推進課

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
43	19	戦略4 用語解説	変更	※国際リニアコライダー（ILC）……全長3020km を超える直線の地下トンネルの中に設置される直線形衝突型加速器で、トンネルの中央で電子と陽電子を衝突させる実験装置のこと。	国際リニアコライダー推進事務局
44	20	戦略5 本文	新規事業の実施に伴う追記	女性の就業・再就職や起業の支援のほか、両立支援・キャリア支援などによる就業継続支援を行うとともに、リーダー的地位を担う人材の育成を支援するなど、女性活躍を推進するため、女性活躍推進法に規定する市町村推進計画を策定します。	市民協働推進課 (男女共同参画推進室)
45	21	戦略5 事業	女性活躍推進に係る実態調査【追加】	第2次男女共同参画推進計画改訂時に、女性活躍推進法に規定する市町村推進計画を包含して策定するため、事業所向けのアンケート調査を実施するなど、実態把握を行う。	市民協働推進課 (男女共同参画推進室)
46	21	戦略5 事業	ワーク・ライフ・バランス推進事業(再掲)【追加】	民間企業の自主的な取組を推進するため、人材養成講座を開催するとともに、ネットワーク作りを支援する。	子ども青少年課
47	21	戦略5 事業	中小企業人材育成支援事業【追加】	地域イノベーションの創出を促し、事業者の経営力を強化するため、盛岡市内の中小企業の役員・社員が受講する中小企業大学校等において開催する研修の受講料の一部を補助する。	経済企画課
48	21	戦略5 事業	中小企業事業承継支援事業【追加 31年度計画】	中小企業の事業承継に向けた取組を推進するための働きかけを商店街や同業者組合、商工会議所等を通じて実施します。	経済企画課
49	22	戦略6 事業	UIJターン就職支援事業【◎】【拡充】	盛岡市へのUIJターンを検討している若者等に対する市内企業の訴求力を高めるため、企業の情報発信ツールの製作を伴走的に支援するとともに、情報発信及び人材採用に関する企業向け研修会を実施する。 また、研修参加企業の採用戦略を基にモデル事例を作成し、地元企業に波及させることにより、若者等の人材確保につなげる。	経済企画課
50	22	戦略6 事業	高校生等地元就職フォローアップ事業【◎】【追加】	高校1～2年生の早期の時点から就業に向けた意識の醸成を図るために「(仮)高校生就職応援マガジン」を発行・配布する。 同マガジンを活用し、生徒一人ひとりが将来の就職を見据え、「何をやりたいか」「何に興味があるのか」等について考えるきっかけを与え、さらに業種・職種や地元企業を知る機会を提供する。	経済企画課
51	22	基本目標2 注記	変更	【◎】……「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けることを検討している事業	都市戦略室

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
52	23	基本目標2 関連事業	関連事業の追加	「 <u>男女共同参画推進事業（もりおか女性センターの管理運営）</u> 」の追加	市民協働推進課 (男女共同参画推進室)
53	25	戦略7 本文	新規事業の実施に伴う追記	・盛岡ファン・コミュニティの活動を情報発信などの面で支援しますするなど、 <u>関係人口<sup>*</sup>の増加を機軸としながら、交流人口が移住・定住につながる仕組みづくりを推進します。</u>	都市戦略室
54	25	戦略7 K P I	K P I の追加	<u>ふるさと納税件数【追加】</u> H26 36件 → H31 2,700件	都市戦略室
55	25	戦略7 事業	シティプロモーションの推進【内容変更】	本市における「シティプロモーション」の定義や目的、対象（ターゲット）、方向性等を整理・体系化した上で、その目的達成へ向けた事業等を展開する。 主に首都圏等の若者を対象に、盛岡の認知度や関心度の向上を目的として、情報の受け手が能動的に情報拡散を行う環境を創出しながら、訴求力が高い情報発信を行う。	都市戦略室
56	25	戦略7 事業	盛岡ブランド確立事業【内容変更】 【戦略7→8】	「盛岡を愛する人（盛岡ファン）」を増やすため、市民一人一人が自分たちのまちに対する誇りや愛情を抱く環境の醸成と価値や魅力の積極的な発信に努める。 <u>盛岡の価値や魅力を共有し、自分たちのまちに対する誇りや愛情を抱く環境を創出する。</u>	都市戦略室
57	25	戦略7 事業	スポーツ・ツーリズムの推進【◎】【拡充】	2020東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致活動及び2019ラグビーワールドカップ事前合宿誘致のほか、合宿、スポーツイベントなどの誘致に取り組む。 <u>をはじめとするホストタウン事業の推進及びラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>公認チームキャンプ地誘致のほか、スポーツ大会や国内合宿の誘致に、地域おこし協力隊を配置しながら、県や広域市町と連携して取り組む。</u>	スポーツ推進課
58	26	戦略7 事業	北上川ゴムボート川下り大会参加促進事業【27年度終了事業】	「北上川ゴムボート川下り大会」の大会参加者増を図るため、平成27年度完走艇数及び完走者数の世界記録挑戦に必要な事業費の一部を補助する。	スポーツ推進課

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
59	26	戦略7事業	大型観光キャンペーン事業【拡充】	「いわて観光キャンペーン」などの観光イベントや誘客宣伝活動に参加し、誘客促進を図る。また、平成30年度盛岡開催の「東北絆まつり」では、盛岡・岩手の力を結集し、「東北復興イベント」を開催し、東北の復興機運を盛り上げる。	観光交流課
60	27	戦略7事業	総合交流ターミナル機能拡充事業【拡充】	交流人口の拡大と地域資源の活用を目的に、総合交流ターミナル施設を再整備し、 <u>するほか、地域おこし協力隊の配置や、地域資源を活用した施策等と連動させること</u> で、若者をターゲットとした都市との交流の拠点化や地場産品による6次産業化など地域経済循環促進の拠点化を推進する。	産業振興課
61	27	戦略7事業	盛岡ファン・コミュニティの活動支援【検討→計画】 【内容変更】	主として本市外において、本市の特産品や祭りなどの普及・愛好等の活動を行っているファン・コミュニティの活動を情報発信などの面で支援する。 <u>また、首都圏などで盛岡に関連するお店や場所のリスト作成など、盛岡との関係性を築きやすい環境整備を進め、盛岡ファン・コミュニティの裾野を広げながら、関係人口の増加を図る。</u>	都市戦略室
62	27	戦略7事業	サクラパーク姫神を拠点とした桜の名所づくり【検討→計画】 【内容変更】	<u>企業版ふるさと納税を活用して、1万本のオオヤマザクラを植樹した日戸地区の桜の新名所・サクラパーク姫神について、道路案内標識の整備やリーフレットの作成を行うほか、イベントを開催するなど、市民への周知や観光客の誘致を図る。</u>	産業振興課
63	27	戦略7事業	(仮称)盛岡の川の賑わい創出事業 盛岡地区かわまちづくり事業【検討→計画】	川を中心とした観光振興や地域活性化を図るため、国や市民団体と連携し、かつて盛んだった北上川の舟運を復活させ、歴史ある街並を活用した観光ルートづくりと合わせ、街に賑わいを創出する。	公園みどり課
64	27	戦略7用語解説	追記	<u>※関係人口……その地域に居住していないものの、出身者や勤務経験者であるなど、その地域との継続的な関わりがある人を捉えるもので、定住人口と交流人口の間となる概念</u>	都市戦略室
65	27	戦略7用語解説	修正	<u>※スポーツ・ツーリズム……スポーツを通じた交流人口の拡大のほか賑わいの創出や地域振興に結びつく取組全般。例えば、プロスポーツなどの観戦やスポーツイベントへの参加、スポーツ合宿などを主目的に、開催地周辺の観光を組み合わせた旅行形態</u>	スポーツ推進課

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
66	28	戦略8 本文	新規事業の実施に伴う追記	本市へのUIターンの掘り起こしを行うため、関係人口という考えを機軸に、首都圏における移住・定住を促進するためのプロモーション活動や相談活動を強化します。	都市戦略室
67	28	戦略8 本文	新規事業の実施に伴う追記	本市へのUIターンの意向を持つ人などを対象とした情報発信及び相談体制を強化するとともに、本市におけるUIターンの受け皿を整備するため、「お試し居住」の実施や空き家改築補助などにより、UIターンを促進します。のほか、交流拠点を整備します。	都市戦略室
68	28	戦略8 本文	新規事業の実施に伴う追記	高校生などの若者が地域と接する機会や、自分たちの住む地域の良さを自ら発信する機会などを創出することで、愛郷心の醸成を図ります。	都市戦略室
69	28	戦略8 K P I	文言統一による修正	UIターン相談件数	都市戦略室
70	28	戦略8 K P I	K P I の追加	官民連携による移住・交流を促進するための拠点の利用者数（宿泊者数）【追加】 H26 - → H31 1,000人	都市戦略室
71	28	戦略8 K P I	K P I の変更	高校生による地域福祉課題解決プログラム構築事業・地域福祉中核人材育成事業参加者数【変更】 H26 0人 → H31 270人800人	地域福祉課，都市戦略室
72	28	戦略8 事業	盛岡ブランド確立事業 【内容変更】 【戦略7→8】	「盛岡を愛する人（盛岡ファン）」を増やすため、市民一人一人が自分たちのまちに対する誇りや愛情を抱く環境の醸成と価値や魅力の積極的な発信に努める。盛岡の価値や魅力を共有し、自分たちのまちに対する誇りや愛情を抱く環境を創出する。	都市戦略室

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
73	29	戦略8事業	地域おこし協力隊活用事業 【◎】 【拡充】	地域振興に資するため、地域のニーズや求められるテーマについて、「地域おこし協力隊」を積極的に活用し、多様な視点を生かした地域の活性化に取り組む。 また、隊員の円滑な活動を支援するため、情報・ノウハウ共有と、隊員のフォローアップやスキルアップの仕組みを構築する。	企画調整課，都市戦略室，農政課，産業振興課，スポーツ推進課，ものづくり推進課
74	29	戦略8事業	官民連携による移住・交流を促進するための拠点の整備【追加】	市外の人と地域住民の交流，移住・定住に関する相談・支援の機能のほか，宿泊，飲食提供，オフィス機能などの複合的な役割を持ち，来訪の動機付けや盛岡の認知度を高めるため，人を惹きつけ，洗練された機能と高いデザイン性を持つゲストハウス型の交流拠点を民間団体等と連携して整備する。	都市戦略室
75	29	戦略8事業	社会貢献型お試し居住事業 【検討→計画】 【内容変更】	CCRCも視野に入れながら，本市への移住・定住の意向がある者などを対象に，シェアハウス形式の住居を無償で提供する。利用者は，滞在中の一定期間，復興支援活動などの社会貢献活動や個人事業主からの事業継承を前提としたインターンシップを行うことなどを条件とする。「ゲストハウス型の交流拠点」などを活用し，ボランティア活動やワーキングホリディを組み合わせながら，盛岡の日常の暮らしや仕事を体験する機会を創出する。 また，インターンシップ，起業支援，事業承継など就労や起業の機会と結びつけることや，CCRCを視野に入れたアプローチなどを検討しながら，移住を意識した居住体験を支援する取組を行う。	都市戦略室
76	29	戦略8事業	移住・定住の促進に係るプロモーション【追加】	移住・定住を促進するための特設のホームページを立ち上げるほか，SNSを意識した情報発信を行う。 また，PR冊子などのプロモーションツールを作成するとともに，大手雑誌などの広告媒体を活用したプロモーションのほか，民間団体等と連携し，首都圏等でのイベント開催や大型移住イベントへの出展などを行う。	都市戦略室
77	29	戦略8事業	盛岡広域UI-Jターン移住・定住促進事業【◎】 【検討→計画】	首都圏等からの盛岡広域圏へのUI-Jターンを促進するため，相談窓口を開設するほか，盛岡広域圏の住宅情報，就職情報及び子育て支援情報などをインターネットや紙媒体で発信する。盛岡広域の暮らしに関する情報などについてインターネットや紙媒体で発信する。	都市戦略室

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
78	29	戦略8事業	定住化対策空き家利用促進事業【検討→計画】	市外からの転入者が空き家を活用する場合、空き家のリフォーム費用を補助することにより、空き家の減少と人口増加を図る。	都市計画課
79	29	戦略8事業	高校生を中心とした地域福祉課題解決プログラム【検討→計画】 【内容変更】	地域活動への若者の参加が求められる中で、高校生等が自分の住む地域の課題の発見や解決策の提案など、地域との具体的な関わりを持つことで、地域全体として福祉まちづくりへの参加意識を高めながら、若者の愛郷心の醸成を図る。	地域福祉課、都市戦略室
80	29	戦略8事業	市民発信型のシティプロモーション【追加】	フォトジェニックな（写真栄えする）場所の掘り起こしなどを行いながら、若者が自らの発信する機会を創出するとともに、発信力の向上などを通して、若者の愛郷心の醸成を図る。	都市戦略室
81	29	戦略8事業	地域福祉の推進と地域の活性化とコミュニティ経済の循環促進事業【検討→計画】 【内容変更】	空き家等を活用した共生型の拠点づくりや、シェアリングエコノミー※など、社会資源を有効活用しながら、地域における日常生活の支え合いの可能性を高める取組のほか、コミュニティベースの経済循環にも寄与する仕組みの構築に向けて、ふるさと納税やクラウドファンディングなどを活用した自主財源の確保策や地域通貨の導入などについて調査研究を行う。	地域福祉課、都市戦略室
82	30	戦略8用語解説	追記	※シェアリング・エコノミー……典型的には個人が保有する遊休資産（スキルのような無形のものも含む）の貸出しを仲介するサービスであり、貸主は遊休資産の活用による収入、借主は所有することなく利用ができるというメリットがある。貸し借りが成立するためには信頼関係の担保が必要であるが、そのためにソーシャルメディアの特性である情報交換に基づく緩やかなコミュニティの機能を活用することができる。	都市戦略室
83	30	基本目標3注記	変更	【◎】……「連携中枢都市圏ビジョン」に位置付けることを検討している事業	都市戦略室
84	32	再掲1表	上記に基づき追記	小児救急輪番制病院事業、地域おこし協力隊活用事業の追加	—
85	32	再掲1表	上記に基づき修正	盛岡広域U-I-Jターン移住・定住促進事業	—
86	33	再掲1表	上記に基づき修正	K P I 一覧の修正（前述のため省略）	—

No	頁	区分	改定理由及び事業名等 「◎」は、みちのく連携都市圏ビジョンに位置付けられている事業	改定の内容等	備考
87	34	推進体制 本文	修正	また、重要業績評価指標（K P I）の検証及び検証結果を踏まえた総合戦略の見直しを行うため、住民・産学金労等の有識者からなる（仮称）盛岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を設置する。	都市戦略室
88	35	全体像	上記に基づき修正	K P I 一覧の修正（前述のため省略）	—